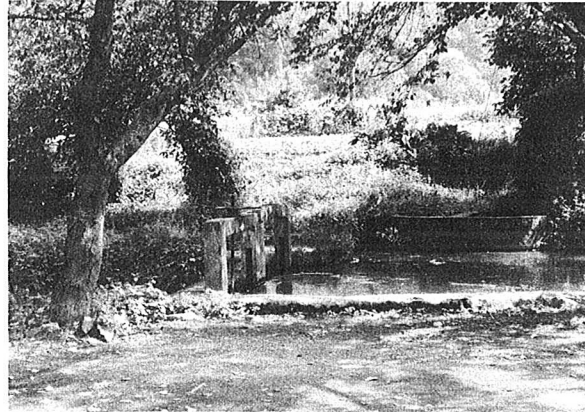


創設当時の家中川水路からの取入口



給水開始当時の使用戸数の内訳は

- 放任専用 (家屋内に引込み計量でないもの) 320戸
- 計量専用 (家屋内に引込み計量器を備えたもの) 122戸
- 放任共用 (屋外の蛇口を数戸で共同使用するもの) 1,005戸

多年の要望と懸案であった水道が完成して、給水が開始された喜びを当時発刊した谷村町水道概覧にはつぎのように記している。

「大正12年2月1日ヨリ町内一般ニ対シ給水ヲ開始セシニ、其成績頗ル良好ニシテ配水ノ其度ニ適シ、何等ノ支障ナキノミナラズ、一面消防上ノ設備ニ完全ヲ加ヘタルハ、本町發展上慶賀スベキ所ナリトス、給水区域内全戸数ニ給水スルソノ成績ヲ見ルニ誠ニ喜ニタヘナイ。」

4. 設備のあらまし

- 創設 (大正10年7月 大正12年2月)
- 計画給水人口 10,000人・現在人口 8,098人
- 給水量 1人1日 111.3ℓ (4立方尺)

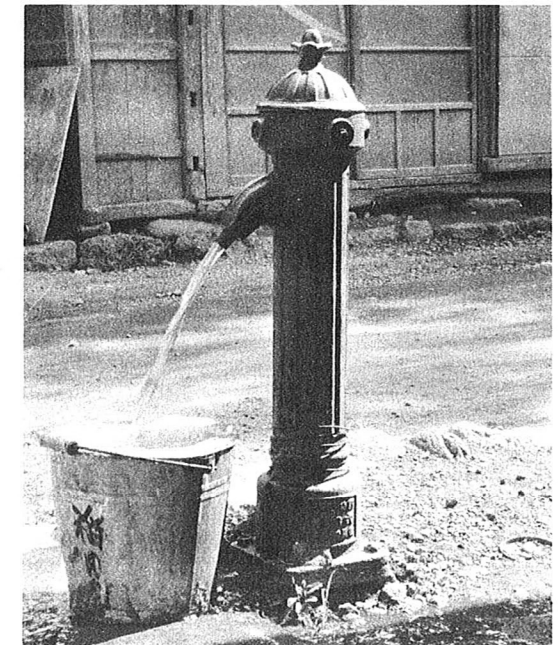
水源は、桂川より分岐した家中川水路の表流水を取水し、沈澱、ろ過、滅菌後配水する。

- 導水管 径 250mm 鑄鉄管 340m
- 沈澱池 長 27.3m × 巾 20.6m × 深 2.1m 容量 1,113^m 1池
- ろ過池 長 22.7m × 巾 16.4m × 深 2.4m 2池
- 配水池 長 18.2m × 巾 16.7m × 深 2.1m 容量 557^m 1池

配水管	径 200mm	鑄鉄管	2,355.8m
	径 150mm	〃	675.3m
	径 100mm	〃	2,941.3m
	径 75mm	〃	4,557.4m
	計		10,529.8m

5. 工事費の内訳

収 入		支 出	
補助金	37,500円	22,391円	人件費
起債	158,100円	3,788円	事務費
基本財産繰入	36,000円	204,631円	工事費
一般財源	2,605円	3,395円	雑費
計	234,205円	234,205円	計



創設当時の共用栓
数戸が共同で使用してきたも
ので最近まで使用されてきた。